



まきび連携だより

令和2年度
第3号

発行 まきび地域学校協働本部 事務局

令和2年度第3回まきび地域学校協働本部運営会が2月26日に開催され、一年間の活動のまとめをしました。地域委員の皆様もお忙しい中参加していただき、活動へのアドバイスをいただきました。コロナ禍で例年取り組んでいた活動ができなくなったものもありましたが、今年度の成果と来年度への課題を確認しました。来年度も、一層地域に貢献していける倉敷まきび支援学校となるよう、活動していきます。

令和2年度の主な取組

アジサイの苗を植えるプロジェクト —高等部職業コース流通サービス—

地域の依頼を受けて、まきび公園でアジサイの苗を植えました。2時間近くかけて、60株余りのアジサイを公園内に定植し、地域の活動に貢献することができました。



花苗の贈呈 —中学部農園芸班—

中学部農園芸班が作業学習で育てたミニヒマワリをプランターに植え、箭田幼、箭田小、真備中、ライフタウンまき、たけのこ茶屋に贈呈しました。たけのこ茶屋は遠いので高等部にも協力してもらいました。



地域の清掃活動 —高等部職業コース環境サービス—

職業班の環境サービスコースの清掃作業の実習場所として、真備支所と吉備真備駅の清掃を隔週で行いました。公共の場所の清掃作業を行うことにより、地域貢献につながる有意義な学習となっています。



出張相談会

個人懇談期間中に実施しました。福祉サービスの利用や子育て上の心配事等について、保護者が相談支援専門員に個別に相談できる場を設けました。今まで福祉サービスを利用していなかった方、初めて相談支援専門員に相談する方など、たくさんの方にご参加いただきました。子育ての悩みを聞いていただいたり、福祉サービスの内容や利用するためにはどのように手続きを進めていったらよいか等の助言を専門相談員の方からいただいたりして、大変有意義な会となりました。



地域の方へのあいさつ運動・道路清掃 —小学部—

今年度初めて、小学部の児童が学校周辺の校外活動で、地域の方々へ大きな声であいさつをしたり道路に落ちているごみを拾ったりする活動に取り組みました。6年生は真備児童館へ行くときに、道路沿いのごみを意欲的に拾うことができました。来年度以降も継続して取り組んでいきたいと思っています。

地域と連携した避難訓練 —高等部—

ヘルプカードを活用した避難所への避難訓練を実施しました。ヘルプカードを使うことにより、スムーズな避難行動ができることを確認しました。簡易ベッドの体験や非常食の試食をして、防災に対する意識を高めることができました。

